



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 名

上場会社名 アルビス株式会社

コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大森 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 笹田 悦朗

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 51,028 | △8.9 | 844 | 21.0 | 1,029 | 15.2 | 449 | 156.2 |
| 23年3月期第3四半期 | 55,998 | 2.4 | 698 | 5.7 | 893 | 15.3 | 175 | △51.2 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 484百万円 (661.2%) 23年3月期第3四半期 63百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 13.82 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 5.39 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 33,269 | 13,544 | 40.7 | 416.59 |
| 23年3月期 | 32,346 | 13,319 | 41.2 | 409.69 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,541百万円 23年3月期 13,317百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 |
| 24年3月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 4.00 | 8.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 71,500 | △1.1 | 1,018 | 29.1 | 1,200 | 14.0 | 559 | — | 17.20 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 33,779,634 株 | 23年3月期 | 33,779,634 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 1,273,815 株 | 23年3月期 | 1,273,182 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 32,506,225 株 | 23年3月期3Q | 32,507,989 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (6) 重要な後発事象 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原子力発電所事故の影響から徐々に回復傾向にあるものの、欧州の金融不安による世界経済の停滞懸念や円高の長期化など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

小売業界につきましても、個人消費の低迷とデフレ基調がより一層高まる傾向に加えて、競合店の新規出店及び業種・業態を超えた企業間競争が激化し、益々厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「北陸No.1のスーパーマーケット」を目指して次の取組み等を行いました。

商品面につきましては、お客様の商品に対する「安全・安心」への意識の高まりに対応する商品仕入の点検を強化するとともに、生活必需品を低価格で販売し、「安さ」を追求し購買意欲を喚起することに継続して努めました。また当社グループにおいては、原材料等にこだわった商品開発を実施する等、「美味しさ」の実現にも努めました。

営業面につきましては、「鮮度」を重視した品質管理と売場づくりに取組みました。またクレジットカード決済サービスの実施や土日・祭日における店舗開店時間の繰上げ等お客様の利便性向上と、「笑顔のサービス」による接客向上に努めました。

販売施策面につきましては、平成23年10月に、連結子会社である㈱サンピューアの「ポイントカード」を統一し、グループ51店舗間におけるポイントカード連携により更なるお客様の利便性向上を図りました。

店舗開発面につきましては、同年10月に「アルビスパスコ店」を改装し、お客様のニーズに応える品揃えと売場構成を導入いたしました。

業績につきましては、主に外販部門の売上が減少し、スーパーマーケット部門の新店（同年6月に高柳店、同年7月に奥田店を出店）売上は計画通り推移したものの既存店売上が前年を下回ったことで、営業収益は減収となりました。営業利益・経常利益面においては、スーパーマーケット部門の売上総利益が増加し、業務の効率化等の取組みにより販管費を抑制した結果、増益となりました。

また、同四半期純利益につきましては、前年同期において「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」を特別損失に計上しておりましたが、当期はこの影響がなくなったこと等により増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益51,028百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益844百万円（前年同期比21.0%増）、経常利益1,029百万円（前年同期比15.2%増）、四半期純利益449百万円（前年同期比156.2%増）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は7,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,198百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が803百万円、商品が439百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は26,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少いたしました。これは主にのれんが169百万円、敷金及び保証金が137百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は10,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。これは主に買掛金が1,126百万円、1年内返済予定の長期借入金が440百万円それぞれ増加し、短期借入金が1,205百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は9,073百万円となり、前連結会計年度末に比べ631百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が527百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は13,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ224百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が189百万円、その他有価証券評価差額金が35百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,249,983 | 4,053,265 |
| 売掛金 | 334,138 | 464,412 |
| 商品 | 1,283,956 | 1,723,478 |
| 仕掛品 | 532 | 247 |
| 原材料及び貯蔵品 | 54,509 | 72,449 |
| その他 | 1,024,058 | 828,061 |
| 貸倒引当金 | △100,530 | △96,915 |
| 流動資産合計 | 5,846,648 | 7,044,999 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,810,524 | 7,593,503 |
| 土地 | 10,086,609 | 10,210,717 |
| その他（純額） | 2,473,345 | 1,664,845 |
| 有形固定資産合計 | 19,370,480 | 19,469,066 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 790,490 | 621,235 |
| その他 | 598,379 | 627,626 |
| 無形固定資産合計 | 1,388,869 | 1,248,861 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 4,020,359 | 3,882,379 |
| その他 | 1,938,548 | 1,837,007 |
| 貸倒引当金 | △218,773 | △212,349 |
| 投資その他の資産合計 | 5,740,134 | 5,507,036 |
| 固定資産合計 | 26,499,483 | 26,224,964 |
| 資産合計 | 32,346,132 | 33,269,964 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,580,386 | 4,706,952 |
| 短期借入金 | 2,007,000 | 802,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,576,674 | 3,017,242 |
| 未払法人税等 | 223,904 | 81,300 |
| 賞与引当金 | 368,355 | 174,218 |
| その他 | 1,827,799 | 1,871,000 |
| 流動負債合計 | 10,584,118 | 10,652,713 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 294,000 | 300,000 |
| 長期借入金 | 6,328,439 | 6,856,392 |
| 受入敷金保証金 | 843,890 | 869,463 |
| 資産除去債務 | 422,996 | 424,801 |
| その他 | 552,764 | 622,586 |
| 固定負債合計 | 8,442,089 | 9,073,242 |
| 負債合計 | 19,026,208 | 19,725,956 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,829,322 | 1,829,322 |
| 資本剰余金 | 2,545,005 | 2,545,005 |
| 利益剰余金 | 9,447,378 | 9,636,549 |
| 自己株式 | △305,248 | △305,374 |
| 株主資本合計 | 13,516,459 | 13,705,502 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △198,805 | △163,765 |
| その他の包括利益累計額合計 | △198,805 | △163,765 |
| 新株予約権 | 2,270 | 2,270 |
| 純資産合計 | 13,319,923 | 13,544,008 |
| 負債純資産合計 | 32,346,132 | 33,269,964 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 55,164,687 | 50,192,517 |
| 売上原価 | 40,933,367 | 36,289,519 |
| 売上総利益 | 14,231,319 | 13,902,998 |
| 不動産賃貸収入 | 833,647 | 835,754 |
| 営業総利益 | 15,064,966 | 14,738,752 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,366,824 | 13,894,157 |
| 営業利益 | 698,141 | 844,595 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 25,115 | 23,887 |
| 受取配当金 | 13,003 | 13,514 |
| 受取手数料 | 43,792 | 37,176 |
| 持分法による投資利益 | 8,971 | — |
| 受取販売奨励金 | 107,570 | 78,114 |
| その他 | 158,974 | 174,139 |
| 営業外収益合計 | 357,426 | 326,832 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 147,601 | 134,315 |
| その他 | 14,361 | 7,871 |
| 営業外費用合計 | 161,962 | 142,186 |
| 経常利益 | 893,605 | 1,029,241 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 31,020 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 28,338 |
| 店舗閉鎖損失引当金戻入額 | 643 | — |
| 地役権設定益 | — | 10,691 |
| 特別利益合計 | 31,663 | 39,030 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 79,808 | 2,659 |
| 固定資産売却損 | — | 197 |
| 投資有価証券評価損 | — | 70,854 |
| 投資有価証券売却損 | 27,109 | — |
| 減損損失 | 66,004 | — |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 5,200 | — |
| 預託金貸倒引当金繰入額 | 475 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 232,325 | — |
| 特別損失合計 | 410,923 | 73,711 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 514,346 | 994,559 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 328,542 | 272,258 |
| 法人税等調整額 | 10,433 | 273,079 |
| 法人税等合計 | 338,975 | 545,338 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 175,370 | 449,221 |
| 四半期純利益 | 175,370 | 449,221 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 175,370 | 449,221 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △111,750 | 35,040 |
| その他の包括利益合計 | △111,750 | 35,040 |
| 四半期包括利益 | 63,620 | 484,262 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 63,620 | 484,262 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|------------------------|---------------------|-----------|---------|------------|-------------|-------------------------------|
| | スーパー マーケット 事業 | 外販事業 | その他の事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 48,303,457 | 7,286,038 | 408,837 | 55,998,334 | — | 55,998,334 |
| セグメント間の内部営業 収益又は振替高 | 5,277 | 103,889 | 253,035 | 362,201 | △362,201 | — |
| 計 | 48,308,734 | 7,389,928 | 661,873 | 56,360,536 | △362,201 | 55,998,334 |
| セグメント利益 | 996,321 | 347,055 | 79,227 | 1,422,603 | △724,462 | 698,141 |

(注) 1. 「調整額」には、セグメント間取引消去13,919千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△738,382千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで、「スーパーマーケット事業」、「外販事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示しておりましたが、「スーパーマーケット事業」の継続的な規模拡大を図った結果、「スーパーマーケット事業」以外の事業の重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の記載を省略しております。

なお、「その他の事業」に含まれていたデベロッパー業務については、社内のマネージメント体制を変更し、「スーパーマーケット事業」に付随する事業として同事業と一体的な管理を行うこととしております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。